

赤平市小・中学校 学力の状況のおしらせ

赤平市教育委員会

令和4年10月

【児童・生徒の学力の傾向】

赤平市では、授業改善と家庭学習習慣の充実を柱に学力向上の取組を継続させてまいりました。その成果は、少しずつ形となって表れてきたものの、学年によってばらつきが見られ、教科によって課題が見られます。

今年度より、小学校1校、中学校1校となり、さらに教育行政・学校・保護者・地域が結びつきを強くして赤平市の児童・生徒の学力向上を推進してまいります。

赤平市では、次の2点を重点として、児童・生徒に指導しております。

◇早寝・早起き・朝ごはんを合言葉に、規則正しい生活を送る。

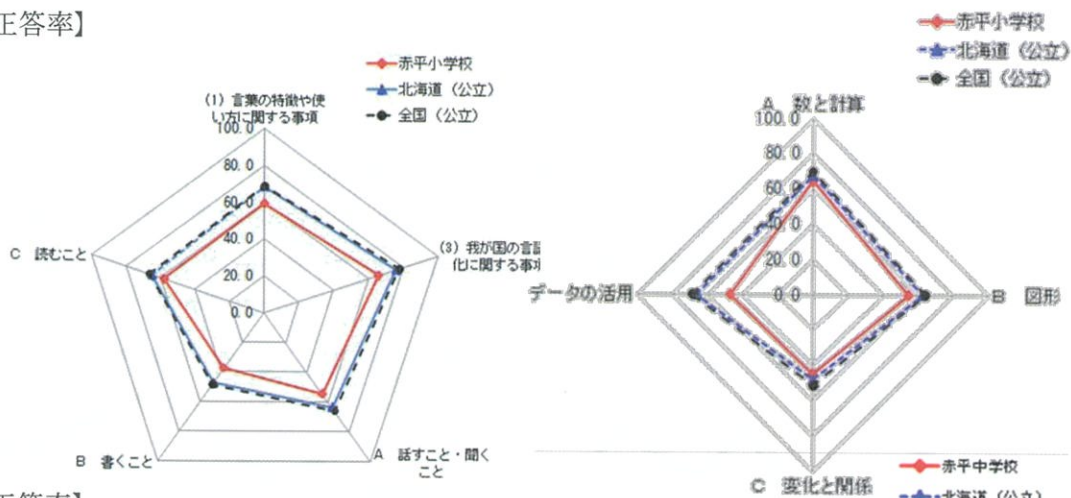
◇家に帰ったら毎日勉強する。

時間の目安として、中3＝100分 中2＝90分 中1＝80分 小6＝70分 小5＝60分
小4＝50分 小3＝40分 小2＝30分 小1＝20分

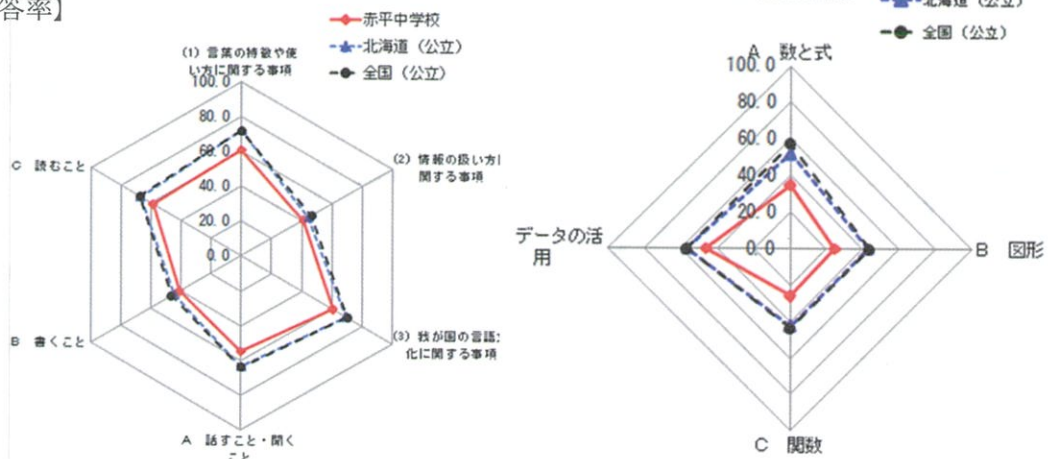
1 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に実施した全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学、理科の結果ですが、全国・全道と赤平市の正答率を質問内容別にレーダーチャートで掲載させていただきます。また、児童・生徒質問紙調査から生活と学習意欲につながる質問を取り上げて、折れ線グラフで5年間を比較いたしました。

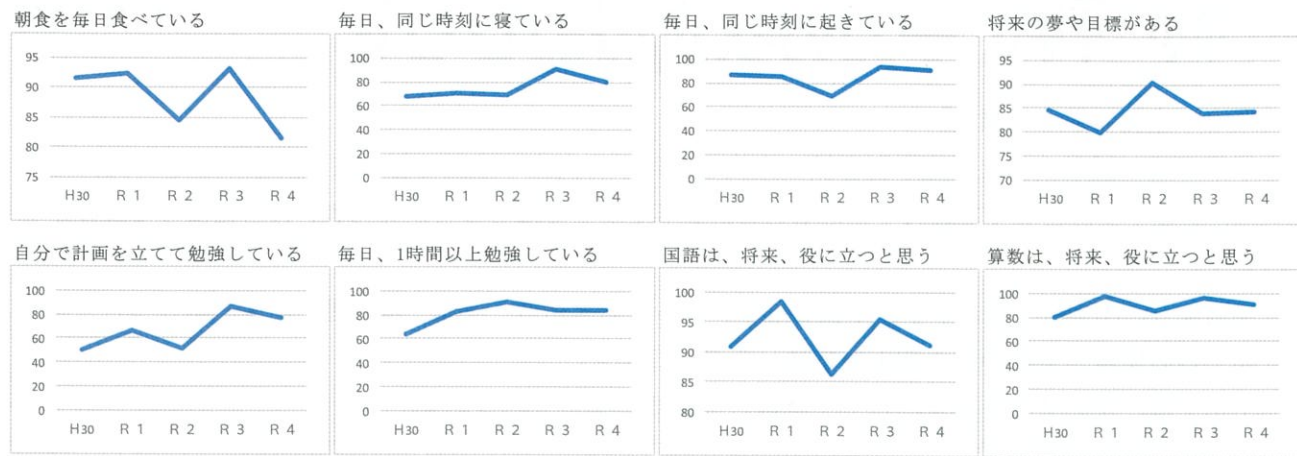
【小学校 正答率】



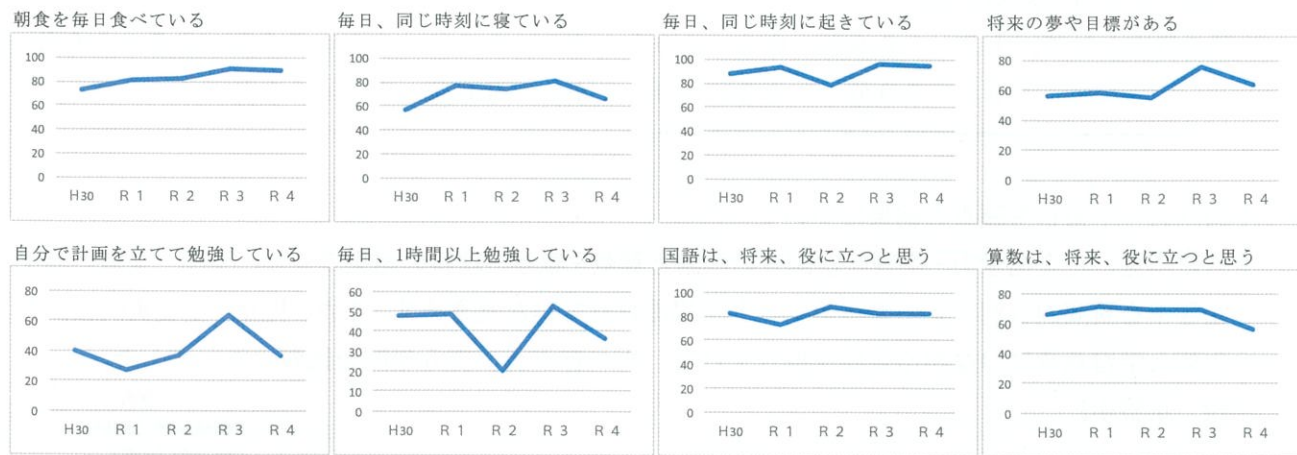
【中学校 正答率】



【小学校6年生 質問紙調査】



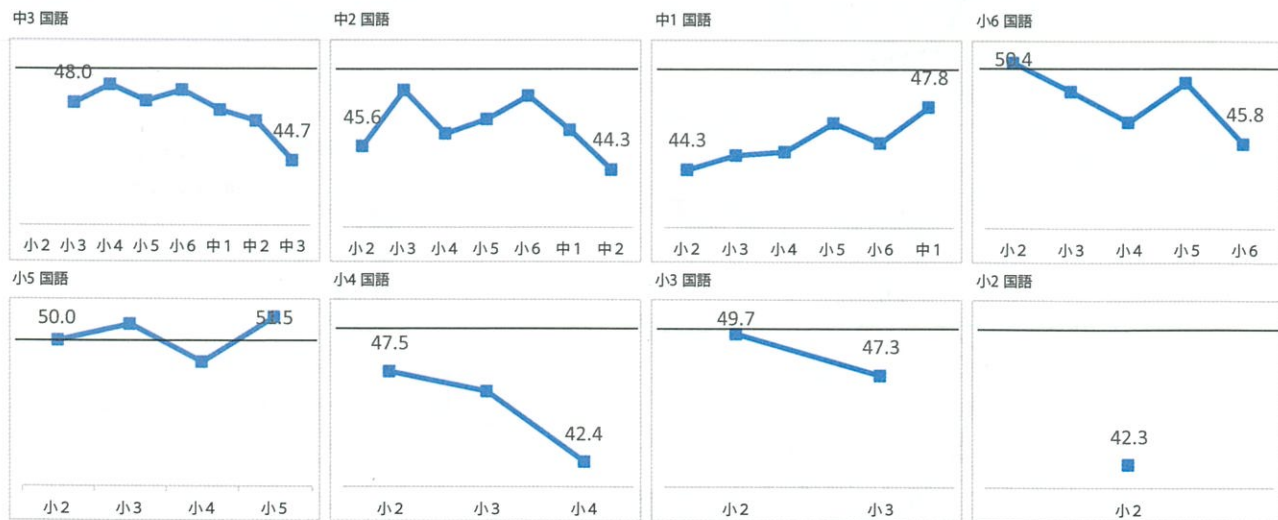
【中学校3年生 質問紙調査】



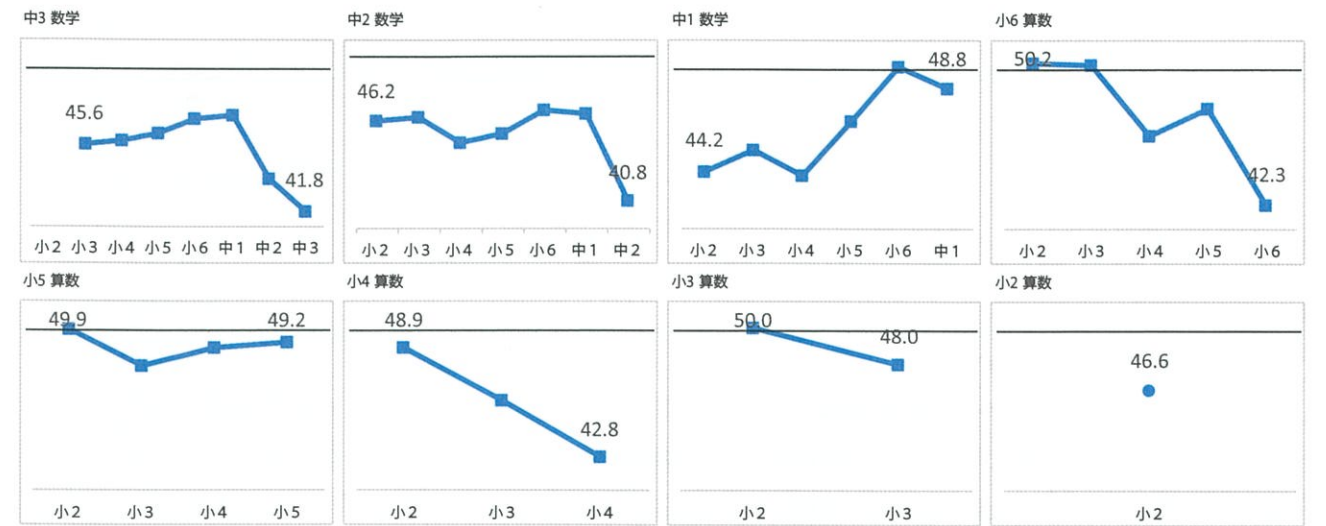
2 標準学力検査について

4月に実施した標準学力検査（NRT）の結果を教科別、学年別にお知らせします。この検査は、赤平市の教育施策として実施しています。下記のグラフは赤平市の小・中学生の結果ですが、実線を「全国標準値50」として表しております。現学年における、各教科の学力変遷がわかります。

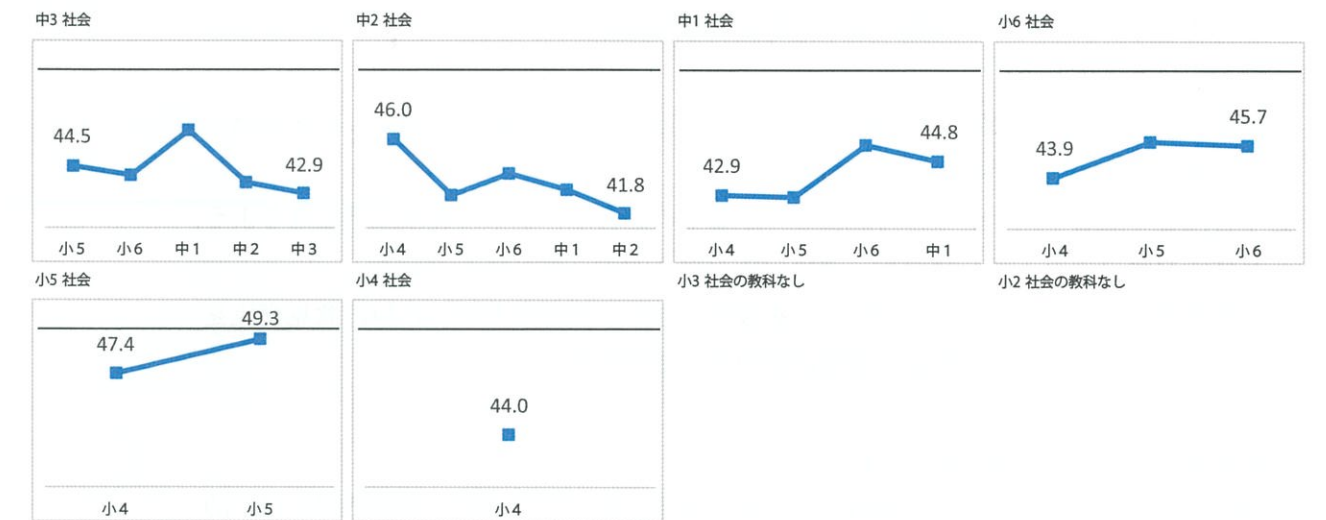
【国語】



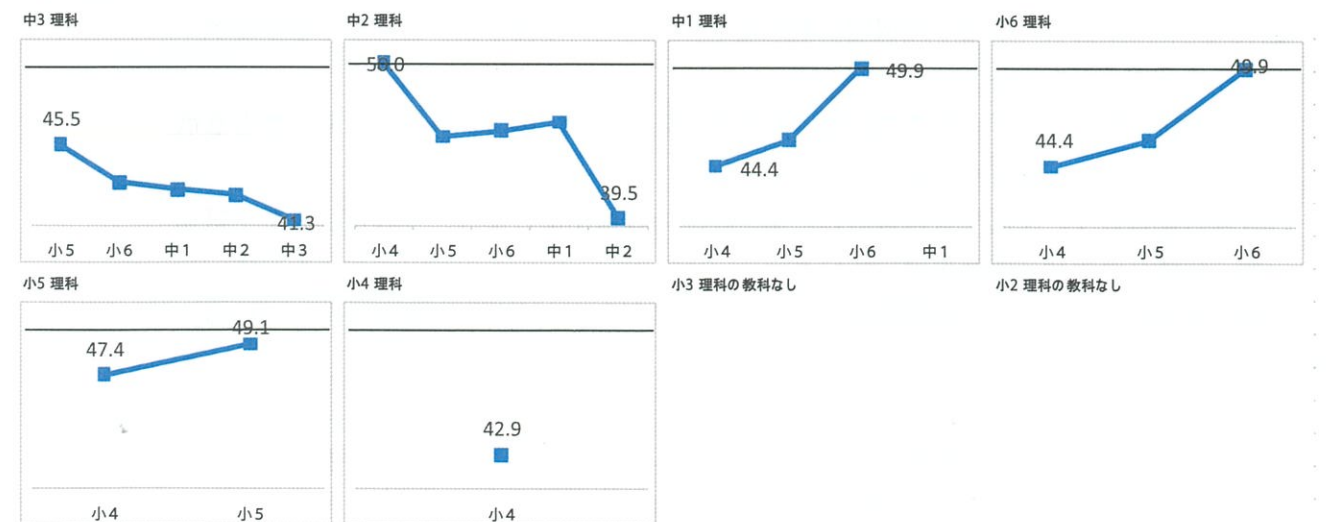
【算数・数学】



【社会】

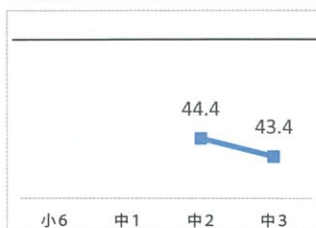


【理科】



【英語】

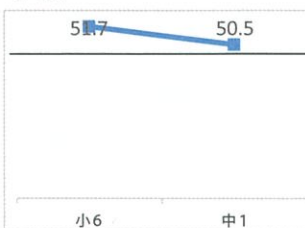
中3 英語(小6,中1実施なし)



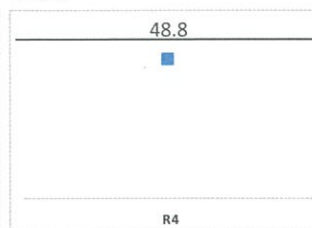
中3 英語(小6実施なし)



中1 英語



小6 英語



3 改善に向けた取り組み

【授業改善の工夫について】

- 正答率が思わしくなかった検査問題について、子どもたち一人一人のレベルまで分析を行い、指導の改善に生かして、関連する学習内容の指導方法等を工夫している。
- 授業での指導の質を上げるため、学校全体で統一した授業スタイルを掲げ、子どもたちにとって学びやすい授業となるよう、全教員が協働して取り組んでいる。
- 授業中の約束事のある程度統一して、子どもたちにとっての学びやすい環境づくりに努めている。
- 授業を進める中で、「聞く」、「書く」、「話す」、「考える」の場面を明確にしたメリハリのある授業となるよう、指導の工夫に努めている。
- 学習内容の定着や活用が十分に進まない子どもの割合が、10%程度以下となるよう、具体的な手立てを工夫しながら、学校全体で授業改善に取り組んでいる。
- 授業を充実させるための重点ポイントを設定しながら授業を参観し合い、意見交流を通して学び合う場を積み重ね、授業の質の向上に努めている。

【家庭学習の改善・充実に向けて】

- 「家庭学習チェックシート」を活用して、家庭学習時間や学習内容の実態把握を日常的に行い、うまく取り組めない子どもへの支援を行っている。
- 学校として意図的に設定した宿題に取り組ませながら、家庭学習に自ら取り組む意欲を高めるように指導している。
- 家庭学習を提出した子どもたちには、丸付け、スタンプ、コメント等により、学習意欲が向上するよう、働きかけを工夫している。
- 家庭と連携して、家庭学習の習慣の定着と時間の確保が進むよう、学校だよりや学級通信、懇談会等で意識啓発を図っている。
- 朝の学習時間を設定し、家庭学習と関連づけて学習内容が定着する指導を行っている。

4 教育委員会としての学力向上に係る支援策

- 北海道教育委員会に義務教育指導班の指導主事派遣を要請し、よりよい授業づくりができるよう、指導力向上に向けた具体的な指導を行っています。
- 小学校では「漢字検定」の助成、中学校では、「英語検定」の助成を実施し、学習意欲の向上を支援しています。また、「公設塾」事業を通して、授業以外の学習機会の設定を進めています。